



# 立命館は なぜスポーツを重視するか

2010年10月7日  
立命館総長 川口清史

〔

スポーツは人を育てる

〕

教育機関としての立命館

- 持続的自己統制力
- 組織力
- 献身性
- チャレンジ精神
- 戰略的思考

# 【スポーツはコミュニティを活性化する】

## 私学としての立命館

- ともに参加、応援することで築かれる絆
- 強いチーム、立派なチームの一員である誇り
- コミュニティの象徴

# 〔21世紀の新たな学問分野としての スポーツ〕

人材養成、研究機関としての立命館

健康な社会づくり



- 新たな人材需要(公的分野、民間)
- 指導者、マネージメント、ビジネス

# 【スポーツ科学の成立と展開】

- 生理学
- 脳科学
- 栄養学
- 心理学
- ロボット工学 等

〔

## カレッジスポーツの抱える諸問題

〕

- 頻発する倫理、社会性の問題
- 勝利、技術優先
  - アスリート獲得競争
- 縦社会における自主性、自発性欠如
- 大学生にふさわしい学力形成の不足
  - ← 「人間を育てる」基本目標の欠如

[

]

# 立命館のスポーツ振興政策

# 〔1. 正課での展開〕

## ■教養科目

スポーツ方法論(受講生4400人、抽選)

## ■学部・大学院・専攻での展開

- ・スポーツ健康科学部(220人)
- ・大学院スポーツ科学研究科  
(修士25人)博士設置予定
- ・産業社会学部スポーツ社会専攻

## 〔2.課外スポーツ振興〕

- 学生のスポーツ機会の提供
- 体育会、同好会承認、支援
  - ・施設、設備、指導者
  - ・重点強化クラブの設定  
　　アメフト、ラグビー、男女陸上、野球、  
　　女子柔道

### 【3.アスリートの積極的受け入れ】

- スポーツ選抜特別入試(231人)
  - ・多様な能力評価の一環、入学後の特別扱いはない、多くの学生の中で育つ
  - ・学力問題  
→単位取得義務、学習支援(アスリート入門)
  - ・評価  
アスリートとしての成長、人間的成长、卒業後の進路

### 〔3.アスリートの積極的受け入れ〕

#### ■ 一貫教育

- ・野球、女子陸上、ホッケー、ヨット等
- ・基本コンセプト、指導の一貫性の検討が必要

## 〔4.指導体制〕

- 重点強化クラブへの専任コーチ配置
  - ・理念、コンセプトの共有は図られているか  
(立命館スポーツとは何か)
  - ・コーチの力量向上
  - ・実績評価
- カレッジスポーツ研究所への期待  
  スポーツ科学との連携  
  専門的客観的評価
- OB指導者への支援

## 【5.財政の考え方】

- OB依存型(伝統大規模私学)
- 一点集中型(新興私学)

立命館は校友の援助を受けつつ、大学として責任を負っていく

- 学友会予算、大学予算、父母後援会
- 寄付政策、国家プロジェクト獲得

# 【 むすび

- 総長の下での新たな展開へ